

神奈川県保健医療計画 進捗状況評価調書

<項目>

第8章 生涯を通じた健康づくりの推進

第1節 かながわ健康プラン 21

とりまとめ担当課：保健福祉局保健医療部健康増進課

1 課題に対する平成 25 年度の実績

(1) 県民が自ら取り組む健康づくりの推進のための環境づくり

- 県民に対し、より効果的な施策の推進を図るため、有識者や先進的な取り組みを行う民間企業、自治体等により検討を行う健康寿命日本一戦略会議を設置した。（平成 25 年 5 月）
- 健康寿命日本一フォーラムを開催した。（参加者約 350 名）
- 生活習慣病等の防止を図る「食」「運動」「社会参加」の取り組みを社会全体で取り組むよう「未病を治すかながわ宣言」発表した。（平成 26 年 1 月）
- 県内の各団体・関係機関や市町村とともに健康づくりを推進するために、かながわ健康プラン 21 推進会議を開催（2 回）した。
- かながわ健康プラン 21 の事業検証と、県民、関係団体、行政間で効果的な推進を図るために神奈川県生活習慣病対策委員会を開催（1 回）した。
- かながわ健康プラン 21 推進会議の構成団体がイベントやセミナー等（かながわ健康財団による各種イベントにおける簡易測定等）を開催し、ホームページで情報提供した。
- かながわ健康プラン 21 推進会議構成団体、県保健福祉事務所、各種イベントや会議・研修、県民健康栄養調査等において、かながわ健康プラン 21（第 2 次）の概要版リーフレット（新「かながわ健康づくり 10 か条」含む）を活用して計画を普及した。（概要版配布件数：6,340 部）
- 県民、企業、学校、行政が一体となって、円滑に計画を推進するため、かながわ健康プラン 21 地域・職域連携推進部会を開催（1 回）
- 市町村への情報提供及び連絡調整のため、市町村健康増進事業主管課長会議を開催（2 回）するとともに、研修、健康教育を実施した。
- 健康づくりの地域・職域連携推進事業を実施した。

（主な実施状況）

	回数	参加人数	備 考
会議	13 回	238 人	(県と 5 つの二次医療圏)
研修	10 回	536 人	(県と 5 つの二次医療圏)
健康教育	154 回	3,439 人	

(2) メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した生活習慣病対策の推進

(県、市町村、企業・保険者、健康関連団体、地域団体、県民)

→特定保健指導を担う人材育成のための研修を実施した。

研修名	対 象	日数	参加者
特定保健指導スキルアップ研修会	特定保健指導に従事している者	2 日間	98名
特定健康診査・特定保健指導評価研修会	特定健康診査・特定保健指導を企画する者	1 日間	56名

→かながわ健康プラン21推進会議の構成団体がイベントやセミナー等(例：「健康チャレンジフェア」（かながわ健康財団主催）等）を開催した。また、それらの情報を取りまとめ、ホームページで情報提供した。

→平成25年度から各保険者は第2期特定健診等実施計画を定めた上で、33市町村及び6国民健康保険組合すべてにおいて特定健診、特定保健指導を実施するとともに、保健事業の実施に努めた。

2 参考指標の推移

取組 区分	指標 区分	指標名	単位	神奈川県		出典等
				H24 年度	H25 年度	

3 課題ごとの進捗状況の評価

(1) 県民が自ら取り組む健康づくりの推進のための環境づくり

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	・生活習慣病等の予防に向けた取組を健康寿命の延伸を図る県民運動として推進していく体制の充実強化が図られた。
評価理由	・「健康寿命日本一」（健康寿命の延伸）の課題達成に向け、着実に進捗している。
今後の取組みの方向性	新たな取組等が県民の健康づくりに定着化するよう、市町村、企業・団体と連携して取り組む。

(2) メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した生活習慣病対策の推進

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	・ 特定保健指導を担う人材の資質の向上のため、事業の企画担当者及び従事者する者の研修会を保険者協議会と協力し開催することで、特定保健指導の充実に努めた。 ・ メタボリックシンドロームに着目した特定健診・特定保健指導を実施し、被保険者の生活習慣病予防を進めている。また「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」により保健事業の実施に努めている。
評価理由	・ 研修内容は、参加者から実践に繋がる内容であるとの評価があり、人材の育成・資質向上に寄与した。 ・ 平成 25 年度から各保険者は第 2 期特定健診等実施計画を定めた上で、33 市町村及び 6 国民健康保険組合すべてにおいて特定健診、特定保健指導を実施している。なお、受診率の向上が課題である。
今後の取り組みの方向性	・ 引き続き、特定健診等の受診率の向上を目指した取組みを進めるとともに、保健指導技術の向上に繋がる内容の研修を開催するなど、平成 26 年 4 月の指針改定を受けた保健事業に取り組んでいく。

4 総合評価

評価	評価理由
A	「健康寿命日本一」という明確な目標を掲げたことにより、健康増進に向けた気運は上昇しており、県民一人ひとりの生活改善につなげる環境づくりに向け、順調に進捗している。

5 特記事項

--